

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月31日

上場会社名 株式会社 東海理化電機製作所
 コード番号 6995 URL <http://www.tokai-rika.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下 潔
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部副部長 (氏名) 牧野 裕幸
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月7日 配当支払開始予定日 平成20年11月26日

上場取引所 東 名

TEL 0587-95-5211

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	204,830	—	9,598	—	10,542	—	7,106	—
20年3月期第2四半期	212,359	12.1	14,930	46.4	15,747	39.5	10,948	50.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	78.70	78.67
20年3月期第2四半期	121.67	121.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	263,903	163,886	60.7	1,774.95
20年3月期	270,873	161,950	58.6	1,758.34

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 160,310百万円 20年3月期 158,698百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	23.00	—	25.00	48.00
21年3月期	—	24.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	24.00	48.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	392,000	△10.9	15,900	△52.4	17,500	△49.1	12,500	△41.3	138.40

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 94,234,171株 20年3月期 94,234,171株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 3,915,793株 20年3月期 3,979,286株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 90,295,886株 20年3月期第2四半期 89,986,334株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年7月31日に公表いたしました連結業績予想は、当第2四半期連結会計期間において修正しております。詳細につきましては、本日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国のサブプライムローン問題を発端とする金融混乱及び原油高騰が、世界経済全体にマイナスの影響を与えました。

自動車業界におきましては、日欧米ではガソリン高騰の煽りを受け大型車から小型車や低燃費車へシフトし、販売台数は低調ながらも前年同四半期並となりました。BRICS、中近東では、経済成長の鈍化が見られるものの、好調な消費に支えられ、販売台数は堅調さを維持しました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高はスイッチ類やシートベルト、ステアリングホイールなどの販売が減少したため、204,830百万円と、前年同四半期に比べ7,529百万円(3.5%)減収となり、利益につきましては、合理化努力を行ったものの、円高や人件費増などの影響の結果、連結営業利益は9,598百万円と、前年同四半期に比べ5,332百万円(35.7%)、連結経常利益は10,542百万円と、前年同四半期に比べ5,205百万円(33.1%)、連結四半期純利益は7,106百万円と、前年同四半期に比べ3,842百万円(35.1%)それぞれ減益となりました。

a 事業の種類別セグメントの業績は、次の通りであります。

(自動車用部品事業)

自動車用部品事業はスイッチ類やシートベルト、ステアリングホイールなどの売上が減少し、売上高は200,983百万円と前年同四半期に比べ9,007百万円(4.3%)の減収となりました。

(一般電機部品及びその他の事業)

一般電機部品及びその他の事業は、売上高は3,847百万円と前年同四半期に比べ1,478百万円(62.4%)の増収となりました。

b 所在地別セグメントの業績は、次の通りであります。

(日本)

拡販努力による増収効果はあるものの、円高などにより、売上高は147,648百万円と前年同四半期に比べ1,821百万円(1.2%)の減収となりました。営業利益は、合理化等に積極的に取り組んだものの、円高や人件費・償却費の増加などにより、3,768百万円と前年同四半期に比べ5,119百万円(57.6%)の減益となりました。

(北米)

客先生産台数の減少などにより、売上高は36,320百万円と前年同四半期に比べ11,277百万円(23.7%)の減収となりました。営業利益は、売上高の減少などにより、△106百万円と前年同四半期に比べ1,401百万円(-%)の減益となりました。

(アジア)

中国子会社の売上高増加などにより、売上高は29,908百万円と前年同四半期に比べ716百万円(2.5%)の増収となりました。営業利益は、増収効果などにより、4,877百万円と前年同四半期に比べ721百万円(17.3%)の増益となりました。

(その他の地域)

客先生産台数の減少などにより、売上高は12,553百万円と前年同四半期に比べ1,340百万円(9.6%)の減収となりました。営業利益は、売上高の減少などにより、411百万円と前年同四半期に比べ90百万円(17.9%)の減益となりました。

※ 前年同四半期との増減額及び増減率は、参考値であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は263,903百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,970百万円減少いたしました。

これは、売上高の減少により、売上債権が減少したことなどによるものです。

(負債)

負債は100,016百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,907百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産は163,886百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,936百万円増加いたしました。

これは主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加7,106百万円と、配当金の支払による減少2,256百万円、投資有価証券の時価下落による評価・換算差額等の減少等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の58.6%から60.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、34,091百万円となり、前連結会計年度末より1,328百万円減少いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は19,612百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益10,489百万円、減価償却費9,424百万円、売上債権の増減額8,749百万円等による増加と、仕入債務の増減額5,574百万円、法人税等の支払額4,420百万円等による減少の結果であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は17,358百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出12,638百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3,388百万円となりました。これは主に配当金の支払額2,256百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の経済状況を踏まえ、当第2四半期連結会計期間において、通期の業績予想を、連結・個別とも修正しております。

詳細につきましては、本日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

（繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法）

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ192百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、従来の方法によった場合に比べ、所在地別セグメント情報の「日本」の営業利益が192百万円減少しております。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ95百万円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、従来の方によった場合に比べ、所在地別セグメント情報の「アジア」の営業利益が12百万円減少し、「その他の地域」の営業利益が108百万円増加しております。

④ リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用

することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,587	19,695
受取手形及び売掛金	60,493	68,858
有価証券	15,653	18,652
製品	7,031	7,256
原材料	732	619
仕掛品	12,685	12,288
その他	12,985	13,182
貸倒引当金	△80	△130
流動資産合計	130,089	140,421
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,244	27,148
機械装置及び運搬具（純額）	28,974	30,782
その他（純額）	27,636	26,043
有形固定資産合計	83,856	83,974
無形固定資産		
のれん	186	—
その他	2,942	2,229
無形固定資産合計	3,128	2,229
投資その他の資産		
投資有価証券	31,617	30,444
その他	15,326	13,861
貸倒引当金	△115	△59
投資その他の資産合計	46,829	44,247
固定資産合計	133,814	130,452
資産合計	263,903	270,873

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,317	55,442
短期借入金	3,892	3,842
未払法人税等	1,882	4,011
賞与引当金	6,686	5,602
製品保証引当金	3,057	2,889
その他の引当金	143	259
その他	14,318	18,258
流動負債合計	80,299	90,306
固定負債		
長期借入金	828	—
退職給付引当金	17,753	17,182
その他の引当金	451	605
負ののれん	—	16
その他	683	811
固定負債合計	19,717	18,616
負債合計	100,016	108,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,856	22,856
資本剰余金	25,142	25,130
利益剰余金	120,405	116,204
自己株式	△7,047	△7,160
株主資本合計	161,356	157,031
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△288	1,525
為替換算調整勘定	△757	141
評価・換算差額等合計	△1,046	1,666
新株予約権	276	187
少数株主持分	3,299	3,064
純資産合計	163,886	161,950
負債純資産合計	263,903	270,873

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	204,830
売上原価	178,233
売上総利益	26,597
販売費及び一般管理費	16,998
営業利益	9,598
営業外収益	
受取利息	393
受取配当金	104
持分法による投資利益	164
為替差益	341
その他	278
営業外収益合計	1,281
営業外費用	
支払利息	231
その他	106
営業外費用合計	337
経常利益	10,542
特別損失	
投資有価証券評価損	52
特別損失合計	52
税金等調整前四半期純利益	10,489
法人税等	2,851
少数株主利益	532
四半期純利益	7,106

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	10,489
減価償却費	9,424
のれん及び負ののれん償却額	25
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△50
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,068
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	125
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	66
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△157
受取利息及び受取配当金	△497
支払利息	231
為替差損益 (△は益)	3
持分法による投資損益 (△は益)	△164
有形固定資産除売却損益 (△は益)	186
投資有価証券評価損益 (△は益)	52
売上債権の増減額 (△は増加)	8,749
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△140
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,574
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△204
その他	112
小計	23,746
利息及び配当金の受取額	517
利息の支払額	△231
法人税等の支払額	△4,420
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,612
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却及び償還による収入	1,500
有形固定資産の取得による支出	△12,638
有形固定資産の売却による収入	76
投資有価証券の取得による支出	△5,276
投資有価証券の売却による収入	31
子会社株式の取得による支出	△256
貸付けによる支出	△104
貸付金の回収による収入	116
その他	△808
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,358
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△998
リース債務の返済による支出	△32
配当金の支払額	△2,256
少数株主への配当金の支払額	△695
少数株主からの払込みによる収入	463
自己株式の取得による支出	△3
その他	135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,388

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年9月30日)

現金及び現金同等物に係る換算差額	△262
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,396
現金及び現金同等物の期首残高	35,419
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	80
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△12
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,091

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

（単位：百万円）

	日 本	北 米	ア ジ ア	その他の地域	計	消去又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	128,491	36,265	27,532	12,541	204,830	—	204,830
(2) セグメント間の内部売上高	19,157	54	2,376	12	21,600	△ 21,600	—
計	147,648	36,320	29,908	12,553	226,431	△ 21,600	204,830
営 業 利 益	3,768	△ 106	4,877	411	8,952	646	9,598

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

（単位：百万円）

	北 米	ア ジ ア	その他の地域	計
I 海外売上高	36,201	30,201	13,037	79,440
II 連結売上高				204,830
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	% 17.7	% 14.7	% 6.4	% 38.8

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考資料】

前年同四半期にかかる財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金額
売 上 高	212,359
売 上 原 価	181,131
売 上 総 利 益	31,228
販売費及び一般管理費	16,297
営 業 利 益	14,930
営 業 外 収 益	1,305
受取利息配当金	387
持分法による投資利益	266
為替差益	370
その他の営業外収益	281
営 業 外 費 用	489
支払利息	274
その他の営業外費用	214
経 常 利 益	15,747
特 別 利 益	297
固定資産売却益	10
貸倒引当金戻入額	1
投資有価証券売却益	286
税金等調整前中間純利益	16,044
法人税、住民税及び事業税	4,695
法人税等調整額	△ 133
少数株主利益	534
中 間 純 利 益	10,948

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	16,044
減価償却費	8,548
のれん及び負ののれん償却額	6
貸倒引当金の増減額	31
賞与引当金の増減額	280
製品保証引当金の増減額	△ 1,018
退職給付引当金の増減額	△ 307
役員退職慰労引当金の増減額	△ 29
受取利息及び受取配当金	△ 387
支払利息	274
為替差損益	△ 535
持分法による投資利益	△ 266
有形固定資産売・除却損	84
投資有価証券売却益	△ 286
売上債権の増減額	3,042
たな卸資産の増減額	△ 55
仕入債務の増減額	△ 2,586
未払消費税等の増減額	△ 247
その他	2,292
小計	24,887
利息及び配当金の受取額	415
利息の支払額	△ 272
法人税等の支払額	△ 5,014
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,016
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却・満期償還による収入	8,900
有形固定資産の取得による支出	△ 11,579
有形固定資産の売却による収入	106
投資有価証券の取得による支出	△ 7,510
投資有価証券の売却による収入	380
貸付けによる支出	△ 83
貸付金の回収による収入	106
その他	△ 673
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,352
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額	57
配当金の支払額	△ 1,796
少数株主への配当金の支払額	△ 295
自己株式の取得による支出	△ 7
その他	323
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,717
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 25
V 現金及び現金同等物の増減額	7,920
VI 現金及び現金同等物期首残高	29,894
VII 現金及び現金同等物中間期末残高	37,814

(3) セグメント情報

[所在地別セグメント情報]

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

(単位：百万円)

	日 本	北 米	ア ジ ア	その他の地域	計	消去又は全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	125,384	47,509	25,589	13,875	212,359	—	212,359
(2)セグメント間の内部売上高	24,084	87	3,602	17	27,791	△ 27,791	—
計	149,469	47,597	29,192	13,893	240,151	△ 27,791	212,359
営 業 費 用	140,581	46,301	25,035	13,391	225,310	△ 27,880	197,429
営 業 利 益	8,887	1,295	4,156	501	14,841	89	14,930

[海外売上高]

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

(単位：百万円)

	北 米	ア ジ ア	その他の地域	計
I 海 外 売 上 高	47,441	28,267	14,263	89,972
II 連 結 売 上 高				212,359
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	% 22.3	% 13.3	% 6.8	% 42.4

6. 連結売上高明細

(単位：百万円)

部 門	前第2四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		増 減	増減率	(参考)前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)		
	金 額	構成比	金 額	構成比			金 額	構成比	
自動車用部品事業	スイッチ類	75,666	35.6	72,140	35.2	△ 3,526	△ 4.7	157,116	35.7
	シートベルト	46,396	21.9	43,847	21.4	△ 2,549	△ 5.5	94,421	21.5
	キーロック	43,303	20.4	42,333	20.7	△ 970	△ 2.2	90,715	20.6
	シフトレバー	15,900	7.5	16,571	8.1	671	4.2	33,675	7.7
	自動車用ミラー	6,836	3.2	7,063	3.4	227	3.3	15,060	3.4
	ステアリングホイール	8,573	4.0	6,920	3.4	△ 1,653	△19.3	17,032	3.9
	装 飾 品	2,634	1.3	2,739	1.3	105	4.0	5,423	1.2
	そ の 他	10,679	5.0	9,367	4.6	△ 1,312	△12.3	21,129	4.8
小 計	209,990	98.9	200,983	98.1	△ 9,007	△ 4.3	434,574	98.8	
一般電機部品及びその他の事業	2,369	1.1	3,847	1.9	1,478	62.4	5,426	1.2	
売 上 高 合 計	212,359	100.0	204,830	100.0	△ 7,529	△ 3.5	440,001	100.0	